

●今月の主な動き ● ●今月の主な動き ●

今月の主な動き

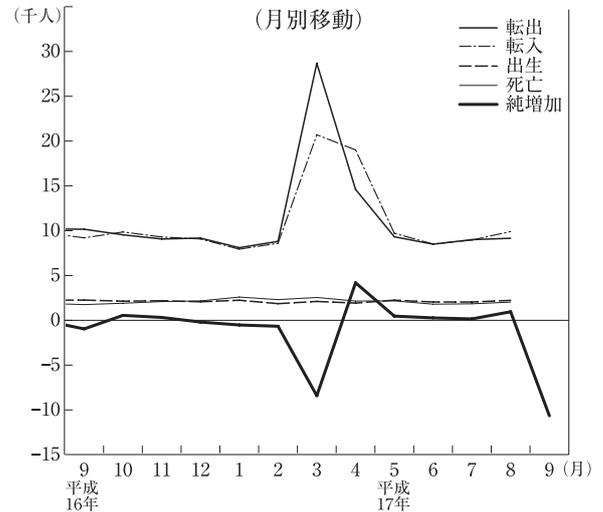
■人口 (17年10月1日現在) (速報)

9月の概況

推計人口 2,975,023人 (対前月 △10,653人)
 (男 1,479,644人, 女 1,495,379人)
 世帯数 1,031,679世帯 (対前月45,850世帯)

※平成17年10・11・12月の各1日現在の結果は、平成17年国勢調査の速報値(公表は平成17年12月)をもとに集計するため、平成18年2月以降の公表になります。

人 口



■賃金・労働時間・雇用 (17年10月)

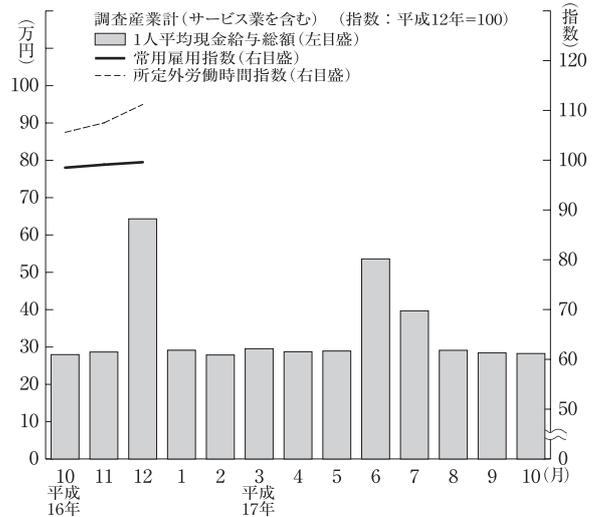
現金給与総額 282,567円 (3.3%)
 きまって支給する給与 281,642円 (3.3%)
 特別に支払われた給与 925円

総実労働時間 154.4時間 (3.9%)
 所定内労働時間 142.2時間 (3.6%)
 所定外労働時間 12.2時間 (8.0%)

※ 事業所規模5人以上, ()内は前年同月比。

(注) 日本産業分類の改訂に伴い、産業や内容が見直しとなった産業があり接続が難しいため、平成17年1月分より指数の公表は行っておりません。

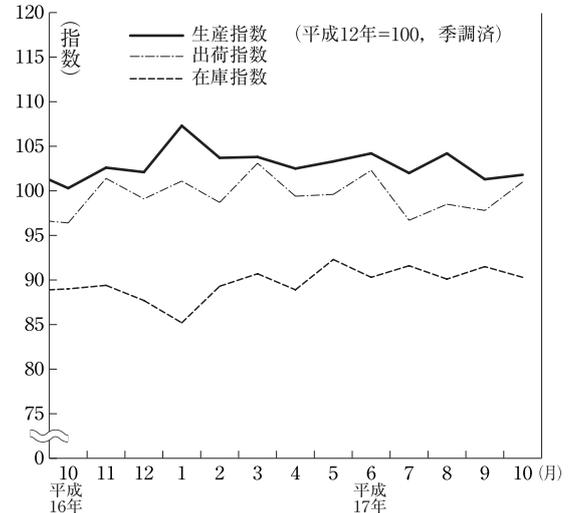
賃金・労働時間・雇用



■鉱工業指数 (17年10月) (季調済, H12年=100)

生産 101.8 (前月比 0.5%, 前年同月比 △0.1%)
 上昇…鉄鋼業, 電気機械工業, 化学工業等
 低下…金属製品工業, 情報通信機械工業, 電子部品・デバイス工業等
 出荷 101.0 (前月比 3.3%, 前年同月比 3.5%)
 上昇…一般機械工業, 鉄鋼業, 電子部品・デバイス工業等
 低下…情報通信機械工業, 金属製品工業, 食料品・たばこ工業等
 在庫 90.3 (前月比 △1.3%, 前年同月比 1.5%)
 上昇…電気機械工業等
 低下…化学工業, 鉄鋼業, 食料品・たばこ工業等

鉱工業指数 <生産・出荷・在庫>



● 今月の主な動き ●

■ 消費者物価指数 (17年11月) (県平均, H12=100)

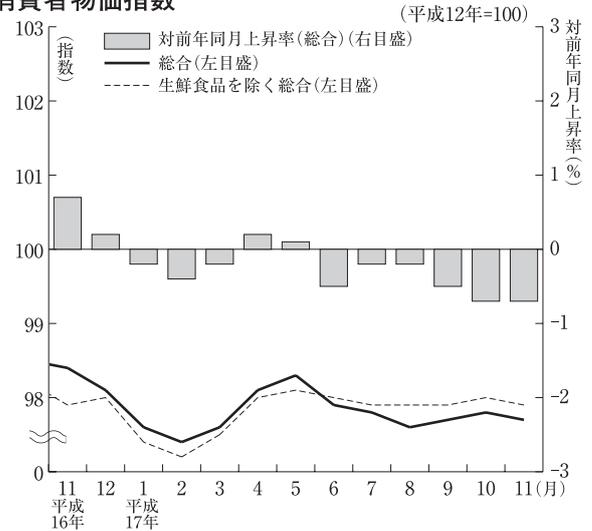
総合 97.7 (前月比 △0.1%, 前年同月比 △0.7%)
 上昇した項目…住居, 光熱・水道, 被服及び履物,
 保健医療, 諸雑費など
 下落した項目…食料, 家具, 家事用品, 交通・通信, 教養娯楽など
 生鮮食品を除く総合 97.9 (前月比 △0.1%, 前年同月比 0.0%)

■ 費目別指数

(平成12年=100)

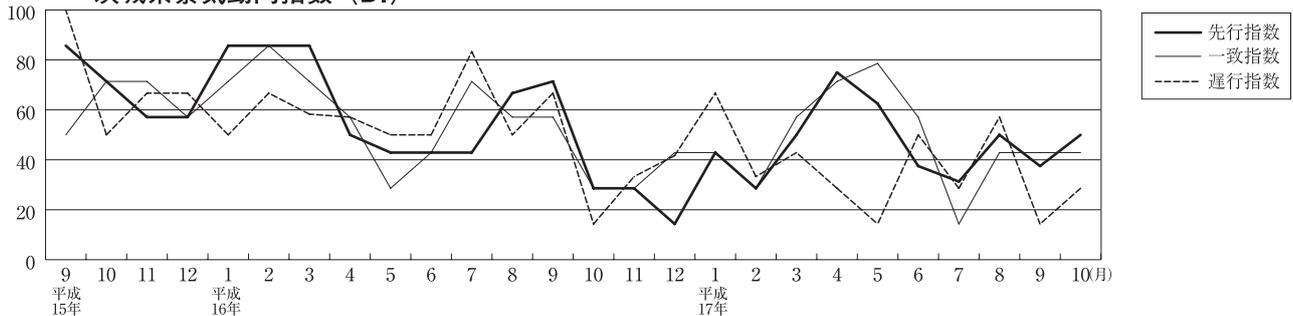
区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総合	97.7	△0.1	△0.7	保健医療	101.3	0.1	△0.5
食料	96.6	△0.3	△3.3	交通通信	99.1	△0.3	0.9
住居	100.9	0.1	0.9	教育	103.8	0.0	0.5
光熱・水道	99.6	0.2	2.7	教養娯楽	91.3	△1.0	△1.4
家具・家事用品	85.2	△0.6	△2.9	諸雑費	102.3	0.2	△0.9
被服及び履物	95.5	0.7	△1.5	生鮮食品を除く総合	97.9	△0.1	0.0

消費者物価指数

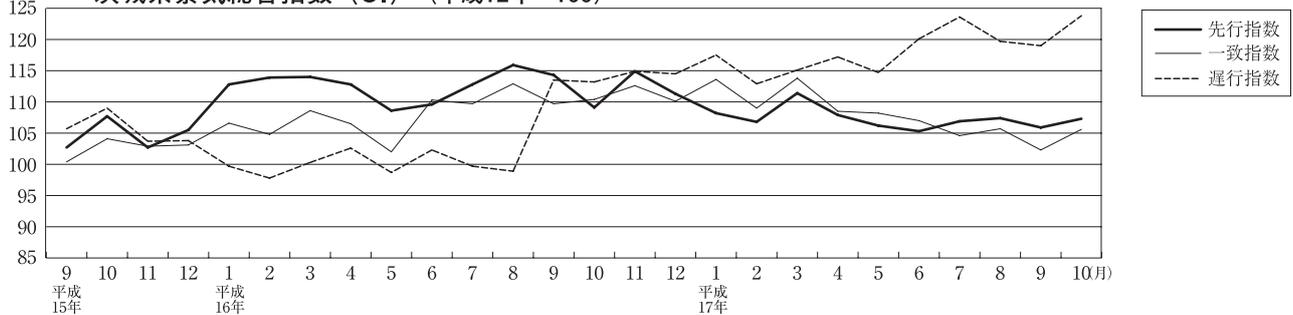


■ 景気動向・総合指数 (17年10月)

(%) 茨城県景気動向指数 (DI)



茨城県景気総合指数 (CI) (平成12年=100)



《 景気動向指数 (DI) 》

先行指数 50.0% (確報値) 2か月ぶりに50%を下回った後, 50%となった
 一致指数 42.9% (確報値) 4か月連続50%を下回った
 遅行指数 28.6% (確報値) 2か月連続50%を下回った

10月の景気動向指数の一致指数は, 大口電力使用量, 茨城県管内輸入額が2か月連続プラスとなり投資財出荷指数がプラスに転じたものの, 有効求人, 鉱工業生産指数, 機械工業生産指数が引き続きマイナスとなり, 百貨店販売額がマイナスに転じたため, 4か月連続して50%を下回った。

一方, 経済部門別にみると, 生産出荷関連及び消費家計関連の指標は採用している7指標のうち5指標がマイナスとなった。

《 景気総合指数 (CI) 》 (H12=100)

先行指数 107.3 (確報値) 対前年同月比 △1.6%
 一致指数 105.6 (確報値) 対前年同月比 1.9%
 遅行指数 123.8 (確報値) 対前年同月比 11.8%